

チャレンジャーはまちの新たな活力
 チャレンジショップで商店街の賑わいが回復

財団法人岐阜市にぎわいまち公社

機関名	財団法人岐阜市にぎわいまち公社		
所在地	岐阜県岐阜市神田町1丁目11番地		
電話番号	058-266-1377		
地域概要	(1)管内人口 400千人	(2)管内商店街数	商店街
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数 12商店街	(2)会員数	600商店
	(3)空店舗率 13%	(4)大型店空き店舗数	2店
商店街の種類	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成15年度 空き店舗対策事業
 総事業費

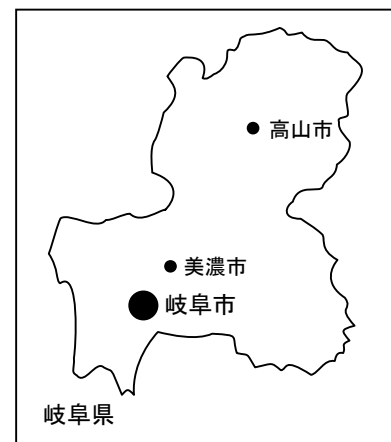
チャレンジショップ運営事業
 6,845千円

【事業実施内容】

1. 背景

岐阜市は、岐阜県の県都としてこれまで中京圏の拠点都市としての役割を担ってきた。特に JR 岐阜駅前から柳ヶ瀬地区に至る地域は、市の中心市街地であるとともに県下最大の商業集積地としてにぎわいを創出してきた。

しかし近年柳ヶ瀬地区では、岐阜近鉄百貨店をはじめ長崎屋岐阜支店、マクドナルド柳ヶ瀬店等の大規模店舗やナショナルチェーンの撤退が続き、空き店舗が増えはじめている。また、中心市街地の外周には県道岐阜環状線が走り、その沿線に中規模のロードサイド型店舗が多数出店する等中心商店街の衰退を招き、商業機能の低下が懸念される状況にある。



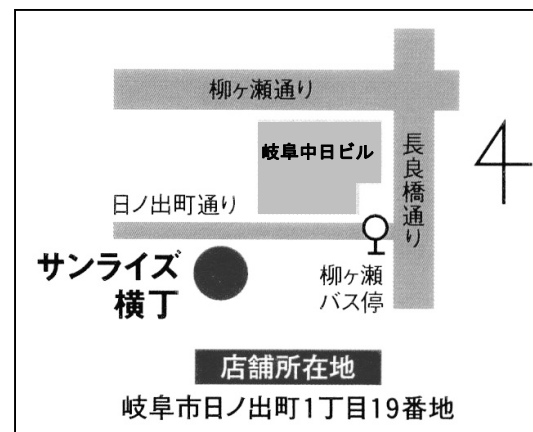
岐阜市位置図

2. 事業内容

中心市街地商店街（柳ヶ瀬地区）の空き店舗を活用し、小売店の開業意欲のある者に安い家賃で賃貸し、商業ノウハウの取得等商業起業者の育成を図るとともに、空き店舗の減少及びにぎわい、回遊性の回復のため、チャレンジショップ事業を実施した。

(1) 事業概要

- ①店舗名称 柳ヶ瀬チャレンジショップ
 「サンライズ横丁」



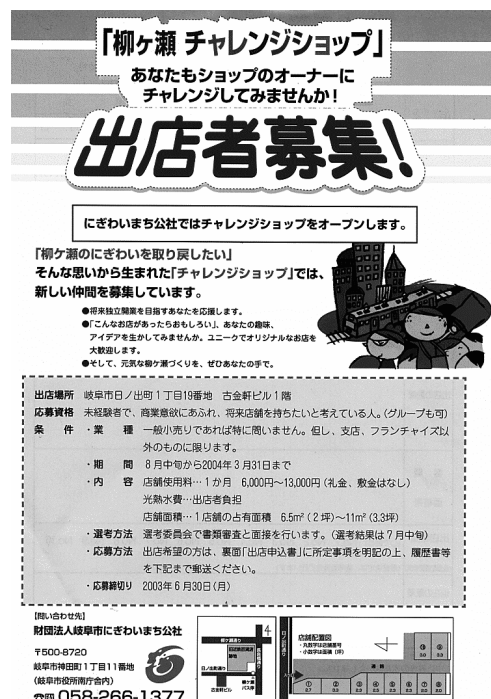
サンライズ横丁位置図

- ②事業主体 (財) 岐阜市にぎわいまち公社
- ③所在地 岐阜市日ノ出町1丁目19番地 古金軒ビル1階
- ④規模 約177.89㎡ (約54坪)
- ⑤営業期間 平成15年8月16日～平成16年3月31日
- ⑥出店数 小売業10店 (手作り衣料・雑貨、玩具、野菜、惣菜等)

(2) 活動実績

①PR活動

- 1) 空き店舗対策事業を、市民や来街者に広く周知するため、柳ヶ瀬チャレンジショップ出店者募集のポスター、チラシを作成し、一般に呼びかけた。
※30件の応募があり、最終選考対象16件の面接審査を行い、10店の出店者を決定。
- 2) 柳ヶ瀬チャレンジショップ「サンライズ横丁」の出店店舗のチラシを作成し、一般に呼びかけた。
- 3) 市広報をはじめ、「月刊誌ぷらざ」、「タウン情報ぎふ」、「人と国土」、「a.un」、「ケイコとマナブ」等、数多くの情報誌にチャレンジショップ紹介の記事が掲載された。
- 4) 岐阜新聞、中日新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞において、チャレンジショップ紹介の記事が掲載された。
- 5) 岐阜テレビ、NHK岐阜放送局、ケーブルテレビで、チャレンジショップが紹介された。



「柳ヶ瀬 チャレンジショップ」
 あなたもショップのオーナーに
 チャレンジしてみませんか!

出店者募集!

にぎわいまち公社ではチャレンジショップをオープンします。

「柳ヶ瀬のにぎわいを取り戻したい」
 そんな思いから生まれた「チャレンジショップ」では、
 新しい仲間を募集しています。

- 既存店舗隣接を目的とする方を応募します。
- 「こんなお店があったらいいな」と、あなたの理想、アイデアを生かしてあげませんか。ユニークでオリジナルなお店を大歓迎します。
- そして、元々な柳ヶ瀬づくりを、ぜひあなたの手で。

出店場所 岐阜市日ノ出町1丁目19番地 古金軒ビル1階
応募資格 未経験者で、商業意欲にあふれ、将来店舗を持ちたいと考えている人。(グループ可)
条件 ・業種 一般小売りであれば特に問いません。但し、支店、フランチャイズ以外のものに限ります。
 ・期間 8月中旬から2004年3月31日まで
 ・内容 店舗使用料…1か月 6,000円～13,000円(礼金、敷金はなし)
 光熱水費…出店者負担
 店舗面積…1店舗の占有面積 6.5㎡(2坪)～11㎡(3.3坪)
 ・選考方法 選考委員会で書類審査と面接を行います。(選考結果は7月中旬)
 ・応募方法 出店希望の方は、裏面「出店申込書」に所定事項を明記の上、履歴書等を下記まで郵送ください。
 ・応募締切り 2003年6月30日(月)

お問い合わせ先
 財団法人岐阜市にぎわいまち公社
 〒500-8720
 岐阜市神田1丁目11番地
 (岐阜市役所南庁舎内)
 ☎058-266-1377

店舗化施設
 本館(2階) 市民センター
 小売部(1階)

チャレンジショップ出店者募集案内

②イベント活動

オープニングイベントのほか、チャレンジショップが立地する日ノ出町商店街のイベントと連携し、信長まつり(楽市楽座)において、抽選会を実施した。(H15.10)



オープニングイベント

③出店者勉強会

チャレンジショップ出店者に対し、独立開業のために必要な勉強会を実施した。

- 1) 「店舗経営に対する税務関係」 (H15. 7. 22)
事業主（経営者、代表者）の考え方
- 2) 「確定申告に対する記帳事務」 (H15. 10. 9)
- 3) 「賑わいを取り戻した大須商店街」 (H16. 2. 5)
若手経営者からのアドバイス



出店者勉強会

【 効 果 】

1. 来街者の行動

空き店舗が多くにぎわいをなくした商店街において、チャレンジショップをオープンさせたことで話題を呼ぶとともに、新聞、テレビ、情報誌等で紹介され、商店街に人が集まる等活力を与えることができた。

2. 近隣商店街への波及

公社の空き店舗対策事業を契機として、周辺の商店街でも自主的な空き店舗対策等の取り組みがはじめられ、行政の支援制度を活用して数店の空き店舗へのテナント誘致が実現している。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

1. PR

商店街の衰退が懸念されるなか、事業の取り組みをどのようにPRするのが有効なのか。また、PR活動のタイミングとその費用を含めた投資効果の把握が今後の課題である。

2. 店舗経営者に対する支援

当事業では、家賃補助等経済的支援とともに店舗経営等に必要な知識習得のための支援を行った。しかし、独立開業者を育成するためには、現在の支援方法ではまだ十分ではないと考えられる。商店街活性化を図るには、現在の状況を当事者（商店街）が把握し、問題点を抽出して対策を練り、行動を起こすことが必要で、そのためには、どのような試みをする必要があるのか専門家のアドバイス等を受け応策する必要がある。

【 実 施 ポ イ ン ト 】

中心市街地活性化に向け、積極的な商店街の取り組みとまちづくりへの支援活動が必要である。取り組むべき課題として、

- a. 商店街の取り組み・・・積極的に商店街の魅力度アップや空き店舗の減少（家賃の見直し等）に取り組む。
- b. 集客・・・イベント、チラシ、情報誌などによるPR。
- c. 商品の開発・・・お客のニーズに合った商品の開発。

上記のことなどについて地域のまちづくり関係者と連携関係を構築し、協力しながら積極的に取り組む必要がある。

【 関 連 U R L 】

- | | |
|----------------|---|
| （財）岐阜市にぎわいまち公社 | http://www.gifu-nigiwai.org/ |
| ぎふ空き店舗活用研究会 | http://www.hatelecom.or.jp/gifuaki/ |